

平成28年度 徳島県立辻高等学校 学校評価計画表

本年度の重点目標	課題	活動計画	評価指標
<p>1 生徒に卒業後の目標を持たせる</p> <p>2 基礎学力の充実を図るとともに、さらなる学力の向上を目指す。</p> <p>3 キャリア教育の推進を図る。</p>	<p>1) 望ましい生活習慣と学習習慣の確立</p>	<p>① 遅刻防止や挨拶の励行、服装・頭髪などの身だしなみについて指導を行い、基本的な生活習慣の確立を図る。</p> <p>② 能率手帳を導入して、生活習慣と学習習慣の確立に役立てる。</p> <p>③ 始業のチャイムと同時に授業を開始する学校の雰囲気作りを行う。</p> <p>④ 能率手帳を活用して家庭学習時間調査を実施し、家庭学習時間の確保を図る。</p>	<p>① 生徒・保護者・教員アンケート「礼儀正しく身だしなみもきちんとできている」80%以上</p> <p>② 生徒・保護者・教員アンケート「能率手帳が生活・学習習慣の確立に役立っている」60%以上</p> <p>③ 生徒・教員アンケート「チャイムと同時に授業を始めた」80%以上</p> <p>④ 家庭学習時間 平均2時間以上</p>
	<p>2) 基礎的・基本的な知識・技能の確実な育成</p>	<p>① 各教科で学習指導方法の工夫や改善について検討し、分かる授業の実施に努める。</p> <p>② 小テスト・確認テスト等を活用し、基礎基本の徹底を図るとともに、学習の遅れがちな生徒に対しては個別指導を行う。</p> <p>③ マナトレやラレボを活用し、義務教育範囲の学び直しを行い、基礎学力の向上を図る。</p>	<p>① 生徒アンケート「授業内容は分かりやすく工夫されている」80%以上</p> <p>②-1 生徒アンケート「確認テスト・小テストが役に立った」80%以上</p> <p>②-2 生徒アンケート「個別指導が役に立った」80%以上</p> <p>③ 生徒アンケート「マナトレやラレボが役に立った」60%以上</p>
	<p>3) 一人一人の状況把握ときめ細かな支援</p>	<p>① 個人面談・三者面談を実施し、生徒が進路について主体的に考え行動する姿勢を育てる。</p> <p>② 三者面談や進路保護者会を通じて、適切な進路情報や資料を提供し、個々の進路希望や適性に合った進路指導に繋げる。</p>	<p>① 担任アンケート「個人面談を各学期1回以上実施した」80%以上</p> <p>②-1 担任アンケート「三者面談を年1回以上実施した」80%以上</p> <p>②-2 生徒・保護者アンケート「進路に関する情報の提供が適切に行われている」80%以上</p>
	<p>4) 体系的な進路指導の推進</p>	<p>① 教科「産業社会と人間」や「総合的な学習」の時間、進路ガイダンス、個人面談を活用して、発達段階に応じた進路指導を実施し、目標の設定や学習意欲の向上につなげる。</p> <p>② 教科担任会、進路個別検討会を実施し、3年間を通じた系統的な進路指導を推進する。</p> <p>③ 各種資格の取得や漢字検定・英語検定など検定試験の受検を奨励し、合格率の向上に努める。</p>	<p>①-1 生徒・保護者アンケート「学校は進学・就職の指導に力を入れている」80%以上</p> <p>①-2 生徒・保護者アンケート「総合的な学習や進路ガイダンスが進路選択に役に立った」80%以上</p> <p>② 教員アンケート「検討会等を実施し3年間を通じた系統的な進路指導を行っている」80%以上</p> <p>③ 一人あたりの検定受検回数 3回以上</p>
	<p>5) 文武両道の奨励</p>	<p>① 部活動顧問・クラス担任・教科担任が連携し、生徒の学習習慣や成績について共通理解を図る。</p> <p>② 学年集会や全校集会を通して、学習と部活動にメリハリをつけて取り組める姿勢を育てる。</p>	<p>① 教員アンケート「顧問・クラス担任・教科担任間で連携ができている」80%以上</p> <p>② 学年集会の実施回数 学期に1回以上、全校集会の実施回数 月1回以上</p>
	<p>6) 学校図書館を活用した読書活動の推進</p>	<p>① 調べ学習や読み聞かせを通して、図書館の積極的な活用を推進する。</p> <p>② 「朝の読書」の実施や学級文庫を活用し、読書習慣を定着させ、読解力や理解力の向上を図る。</p>	<p>① 図書館主催のイベント開催回数 各学期に1回以上</p> <p>② 毎月の読書冊数 1冊以上(漫画・雑誌を除く)</p>
<p>1 人権を尊重し、ともに支え合う仲間づくりを推進する。</p> <p>2 快適な学習環境を整備する。</p>	<p>1) 人権教育の組織的な推進体制の充実</p>	<p>① 「本校の人権教育」に沿ったホームルーム活動、啓発、研修を行う。</p> <p>② 人権新聞を発行して、人権意識の高揚を図る。</p>	<p>① 教員アンケート「計画通り実施できた」80%以上</p> <p>② 人権新聞の発行回数 5回以上</p>
	<p>2) 人権問題について正しい理解を求め、啓発活動の実施</p>	<p>① PTA人権教育研修を実施し、啓発活動を図る</p> <p>② 人権講演会の実施により、生徒の人権意識の高揚を図り、保護者・地域の方々への啓発を行う。</p>	<p>①-1 保護者・生徒の参加者数 各4名以上</p> <p>①-2 教員アンケート「研修後に啓発ができた」80%以上</p> <p>② 教員アンケート「保護者・地域の方々への参加呼びかけを行い、人権講演会後の啓発・ホームルーム活動への利用ができた」80%以上</p>
	<p>3) 情報モラルの育成</p>	<p>① 授業やHR活動、「人権の日」などを通して、情報モラルの重要性の理解に努める。</p> <p>② 情報セキュリティポリシー実施手順に沿ったネットワーク運用を行う。</p>	<p>①-1 校内でのインターネット・携帯電話・スマートフォンによるトラブル相談件数 2件以下</p> <p>①-2 各学年での学習活動 年間1回以上</p> <p>② 教員のセキュリティポリシー研修 3回以上</p>
	<p>4) 生徒の悩みやいじめの早期発見と適切な対応</p>	<p>① 情報交換会、学年会等で職員間の情報交換を行い、支援を必要としている生徒の早期発見に努め、共感的態度で対応する。</p> <p>② 組織的な相談支援体制確立のために、必要に応じて特別支援教育委員会やケース会議を実施する。</p> <p>③ 学校いじめ防止基本方針に則り、アンケート等を実施し、いじめの早期発見と適切な対応を行う。</p>	<p>① 生徒・保護者アンケート「相談に学校は誠実に対応してくれている」80%以上</p> <p>② 教員アンケート「精神的支援が必要な生徒の対応に関係者と連携を取りながら行った」80%以上</p> <p>③ アンケート調査の実施回数 年2回以上</p>
	<p>5) 安全・安心な学校環境の提供と救急処置体制の確立</p>	<p>① 安全点検、学校環境衛生検査により不備な箇所を把握改善し、望ましい環境下での学習能率の向上や、健康の保持を図る。</p> <p>② 救命処置の必要な場面を設定したシミュレーション研修を実施し、実践力の向上を図る。</p>	<p>① 生徒・保護者アンケート「救急処置体制の確立などで、安心・安全な学校環境の整備が図られている」80%以上</p> <p>② 教員アンケート「AED用いた救命処置ができる」100%</p>
	<p>6) 清潔で快適な学習環境の整備</p>	<p>① 全生徒・職員によって清掃活動を徹底し、教室・廊下等の整理整頓を励行する。</p> <p>② 新学校版環境ISOの活動を通して、ゴミの分別を徹底し、エコ意識の向上を図る。</p>	<p>① 生徒・教員アンケート「真面目に清掃に取り組んでいる」80%以上</p> <p>② 生徒・教員アンケート「ゴミの分別ができている」80%以上</p>
	<p>7) 災害等に対処できる教育の充実</p>	<p>① 毎日、校内巡視を行い、危険箇所等の把握に努め、安全・安心な学校環境の提供に努める。</p> <p>② 防災避難訓練を実施し、生徒・職員の防災対応能力を高め、災害時には自分の身を守るだけでなく、周囲への配慮ができる資質を育てる。</p>	<p>① 校内巡視の実施回数 毎日2回以上</p> <p>② 防災避難訓練の実施回数 年2回以上</p>
<p>1 開かれた学校づくりを行う。</p> <p>2 地域に根ざした学校運営を推進する。</p> <p>3 保護者の信頼関係を構築する。</p>	<p>1) 家庭や地域社会への積極的な情報発信</p>	<p>① 各種学校行事に関する内容や配布物(保健だより、図書館だより、蕨の葉だより等)をホームページに掲載し、保護者との連携を強化する。</p> <p>② 学校開放日に授業を地域の人たちに公開する。</p> <p>③ 学校評議員会を開催し、授業公開や意見交換を行う。</p>	<p>①-1 保護者アンケート「辻高校のホームページを見たことがある」80%以上</p> <p>①-2 生徒アンケート「辻高校のHPを見て役立っている」60%以上</p> <p>② 年間実施回数 2回以上</p> <p>③ 年間実施回数 2回以上</p>
	<p>2) PTA活動の活性化</p>	<p>① 保護者との連絡を密にし、保護者参加行事の出席率の向上をめざす。</p> <p>② PTA新聞「蕨の葉便り」を通じて生徒の活動、学校行事等の状況を知らせる。</p> <p>③ 魅力あるPTA行事を催し、保護者の積極的参加を促す。</p>	<p>① PTA総会への出席率 前年度比5%以上増</p> <p>② PTA新聞「蕨の葉便り」の発行回数 年2回以上</p> <p>③ 保護者の学校行事参加回数 年2回以上</p>
	<p>3) ホームページを利用した広報活動充実</p>	<p>① 教職員への研修を行い、HPのコンテンツの充実に努める。</p> <p>② ホームページの同窓会コーナーを充実させ、学校創立100周年について周知を図る。</p>	<p>① 教員アンケート「迅速に辻高校のHPに情報を掲載できている」80%以上</p> <p>② 教員アンケート「同窓会のHPも充実している」80%以上</p>
	<p>4) 地域との連携の推進</p>	<p>① 地域の清掃活動やイベントなどのボランティア活動を通して、地域との連携を図る。</p> <p>② 地域防災推進事業を通して、地域と連携した活動の推進に努める。</p>	<p>① 生徒のボランティア活動への参加 生徒の80%以上</p> <p>② 教員アンケート「地域と連携した活動を推進することができた」80%以上</p>